

取組と目標に対する自己評価シート（フェイスシート）

（市町村名：木津川市）

タイトル 【配食サービス事業】 住み慣れた地域で安心して生活できる支援体制の充実

現状と課題

本市では、配食サービス事業として、食事の調理や買い物が困難な在宅の高齢者等に対し、安否確認を兼ねて週に一度、夕食時にお弁当を届けています。

お弁当の調理・配達ボランティアにより行われていますが、ボランティアの高齢化もあり、担い手不足や新たな担い手の確保が課題となっています。

第9期における具体的な取組

在宅の高齢者世帯等に定期的に食事を提供し、高齢者の健康増進を図るとともに安否確認を行うなど、自立した生活の支援と見守りを実施する。

目標（事業内容、指標等）

在宅の高齢者世帯等に定期的に食事を提供し、高齢者の健康増進を図るとともに安否確認を行うなど、自立した生活の支援と見守りを行う。

目標の評価方法

- 時点
 - 中間見直しあり
 - 実績評価のみ
- 評価の方法
 - 延べ配食数及びボランティア数をカウント

取組と目標に対する自己評価シート（実績評価）

（市町村名：木津川市）

年度	令和7年度
----	-------

実施内容

- ・年間の延べ配食数の確認。
- ・多くの市民にボランティア活動に興味を持っていただき、また、ボランティアとして関わっていただいている方が継続意欲を持っていただけるよう、市社協広報誌へのボランティア募集記事および市広報誌にてボランティアの仕事を紹介する記事を掲載した。
- ・ボランティアに興味のある方に参加いただけるボランティア体験会等の取組を行う。

自己評価結果

- ・令和7年度の延べ配食数は15,977食であり、昨年に比べ+549食であった。
- ・令和7年度の調理ボランティア数は、前年度比▲10人、配達ボランティア数は▲1人であった。

実 績	令和6年度	令和7年度	令和8年度
延べ配食数	15,428 食	15,977 食	－ 食
調理ボランティア数	109 人	99 人	－ 人
配達ボランティア数	158 人	157 人	－ 人

課題と対応策

【課題】

- ・自立した生活の支援と見守りを行うため、広く事業の周知をする必要がある。
- ・ボランティアの高齢化と担い手不足。

【対応策】

- ・本事業について市広報誌および地域包括支援センター、ケアマネジャーを通して広く周知を行い、本事業の認知度を上げる。
- ・市広報誌等にボランティア募集記事掲載、公共施設にボランティア募集チラシ配架等、広くボランティア募集を行う。
- ・ボランティアに興味のある方に参加いただけるボランティア体験会等の取組を行う。